

えにしアカデミー

開学 令和3年（2021年）10月



えにしアカデミー設立の趣意

Philosophy

社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会(以下、「滋賀県社協」)は法人設立 70 周年記念事業として、令和 3 年(2021 年)10 月、「えにしアカデミー」を開学いたしました。

滋賀県社協は、滋賀の福祉現場で働く人たちにアイデンティティとビジョンを持ってそれぞれの仕事に向き合ってほしいという願いを込め、「滋賀の福祉人」と名付けた人材の育成に取り組んでまいりました。

滋賀県および大津市と本会による三者協定「滋賀の福祉人育成に関する協定」に基づく「滋賀の福祉人研修」は、従前からある滋賀県障害者自立支援協議会や滋賀県保育協議会等による分野ごとの研修に加え、本県の福祉従事者の共通研修として実施し、多くの施設、事業所に活用いただいています。

今日、私たち社会福祉の実践対象は制度が対象とする人だけでなく、様々な状況で生きづらさや困難を抱える人たちへとひろがり、それに応える新しい経営と人材が求められています。また人口減少を背景に、社会や地域からの期待は、福祉課題への対応にとどまらず、まちづくりや地域の活性化に資する活動等膨らむ一方です。この流れはポストコロナの社会においてさらに加速するでしょう。

当アカデミーでは、今ある研修の基本体系による学びを基礎にしつつ、滋賀の福祉人が一段の高みを目指して成長していくことを支える新しい学びのかたちをスタートさせました。目的は、実践者として主体的に地域生活課題と向き合い、制度や分野の間を越境し、課題解決の一翼を担う人材を県下で一人でも多く育むことです。「創造実践の道場」ともいえます。

滋賀の福祉人に希望を与え、未来、次世代の志ある若者に福祉滋賀への橋をかける新しい学びのかたちづくりに「ひたすらなるつながり」のご縁ある方々のご理解、ご賛同とご参画を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

令和5年4月

メッセージ

Messages

未来を拓く滋賀の福祉人として 学び深めともに 成長しましょう

滋賀の縁創造実践センター
社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会

会長 いちかわ ただし
市川 忠稔



人口が減少し、複雑な課題が絡み合い、孤独孤立を実感する人々が増えている今日、幸せでありたいという誰もの願いを実現する福祉社会を築こうと滋賀の福祉人は日夜尽力されています。

「えにしアカデミー」は、こうした志ある福祉人が、豊富な知見をもつフェローのもとで、これまで培ってきた知識や経験をもとに、お互いの考えや思いを交わしあい、切磋琢磨しながら、これからの時代を創る福祉感を醸成していただく場です。

日頃の職域や職能での研修では学べないことを大局的横断的な視点から学ぶことで、受講いただいた皆様が、地域の課題に主体的に向き合う実践者として大きく成長できるよう内容の充実に不断に取り組んでいます。

ぜひ、「えにしアカデミー」の門をくぐって、新しい学びの世界に触れ、滋賀の福祉の未来を拓くリーダーとなれることを祈念しています。

滋賀の福祉を支える法人、施設、事業所の皆様には、その価値を高める学びとなるよう尽力してまいりますので、職員のご入学への支援など「えにしアカデミー」へのご理解ご協力よろしくお願い申し上げます。

学び人とフェローが共に育ちあう場、 「幸せ探しと幸せ創り」を リードしましょう

えにしアカデミー

学長 うえのや かよこ
上野谷 加代子
(同志社大学名誉教授)



私たちは、これから産まれてくる子どもたちに「幸せな社会」を残すことができるでしょうか？

だれもが、「共感」や「支えあい、助け合い」、「つながる喜び、楽しさ」を生活の中で体験し、その理念・価値を学び、そして誕生を祝福され、命を全うするときには、互いに「ありがとう」と感謝しあうことを権利として、また文化として認めあえる、そのような社会を創りたいと願っています。実現のためには、理念と高度な知識、技術の獲得そして多くの仲間が必要です。

「えにしアカデミー」はすべての人の「幸せ探しと幸せ創り」をリードする豊かな福祉人に成っていくことを応援する“拠点”です。

学び人とフェロー（講師）が、共に育ちあう場でもあります。新しい学びのカタチの創造です。皆様方のお力を得て、大きく育てていただきますようお願い申し上げます。

誰一人取り残さない 共生社会の実現にむけて、 えにしアカデミーに 期待しています

滋賀県知事
えにしアカデミー

みかづき たいぞう
名誉顧問 三日月 大造



全ての人が他者の生きづらさに気づき、自覚者となり、自ら責任をもって実践にうつす。そうした社会福祉の実践を目の当たりにして、人びとの中に、ひとの幸せを願い、思いやる共感の心が育っていく。

その共感と連帯によって「誰一人取り残さない共生社会」を実現し、幸福感を実感できるように、みんなで描き、共につくる「健康しが」を目指していきたいと考えています。

「えにしアカデミー」が良き実践者の道場となることを大いに期待しています。

一緒にがんばりましょう。

えにしアカデミーと滋賀県社会福祉研修センターが実施する「滋賀の福祉人研修」は、分野を横断し、福祉従事者の資質向上という大きな目標と福祉領域の根底に存在する価値や倫理を学び続けるという姿勢は同じです。その中で、えにしアカデミーは、福祉領域にとどまらない分野も学び、自身がつ課題意識について新たな知見を持つことで滋賀の福祉の新しい価値や倫理を創造し、法人規模の組織運営や福祉経営等、強いては滋賀の福祉全体をけん引するリーダーの養成を目的としています。一方「滋賀の福祉人研修」は、滋賀の福祉の実践者からその姿勢について学び、福祉従事者としての個々の価値観や倫理観を高める研修体系としています。

いずれも、福祉分野で仕事をするみなさんが自身のライフステージにおいて、自らのキャリアを自らの力でデザインしていくための主体的な学びをサポートする内容となっています。

えにしアカデミーでは、これからの法人経営や組織運営の次代を担うみなさんの積極的な参加をお待ちしています。

えにしアカデミーの特徴

- ◆ 次代の経営層・リーダー養成
- ◆ 広い視野で捉える力を学ぶ
- ◆ 新しい福祉のあり方を創造する
- ◆ 分野を越えたつながり
- ◆ 学生同士の意見交換
- ◆ 低く抑えた授業料
- ◆ 業務に合わせてフレキシブルに受講
- ◆ 働きながら学べる
- ◆ 多様なフェローたち
- ◆ 少人数制のゼミ

えにしアカデミーで育む三つの力

- ◆ 俯瞰力
- ◆ 課題解決能力
- ◆ リーダーシップ

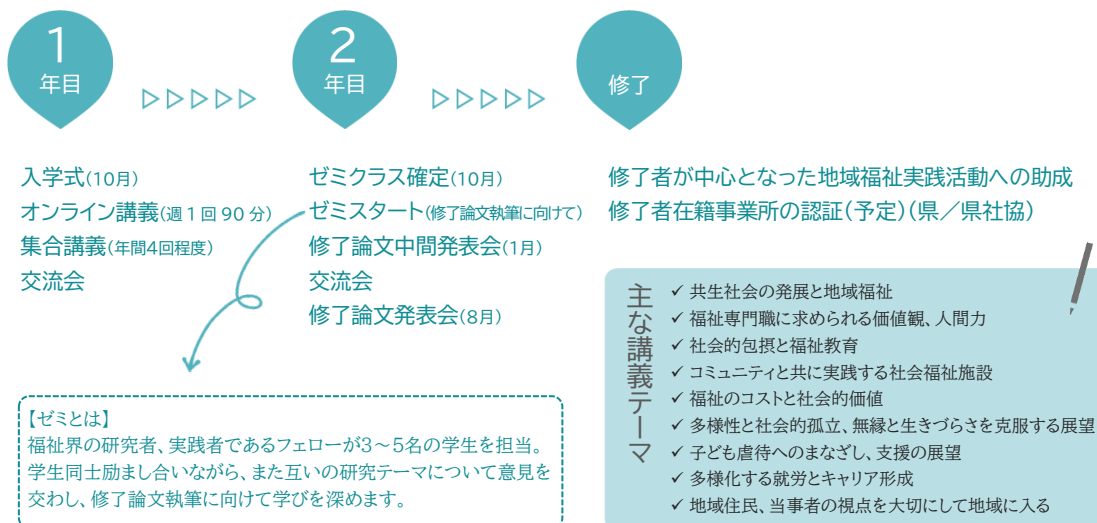
えにしアカデミーでの三つの学び方

- ◆ オンライン講義(後日視聴が可)
- ◆ 集合講義
- ◆ ゼミ



オンラインでどこからでも受講が可能です

入学から修了まで



学生の声



えにしアカデミーは 私にとっての羅針盤

岩田 稚香さん 2期生
社会福祉法人 しがらき会
しがらき地域生活支援センターうろむろ チーフ

忙しい日々の中では課題解決や現状改善に追われ、視野が狭くなってしまう事もしばしば。そんな中、週1回の講義と共に学ぶ仲間との意見交換の時間は、福祉の原点の確認と目指すべき方向を示してくれる、大切な時間となっています。セカンドベストをモットーに受講、当日受講を目指しつつ、他業務とのバランスを見て、必要であれば無理をせず後日視聴。「学ぶ」をベストに！職場には事前に研修期間やスケジュールを伝え、協力を依頼し、講義後には学んだ内容を共有し、何を学んでいるのかを理解してもらえよう心がけています。



えにしアカデミーで感じた 確かな手応え

田中 裕さん 1期生
社会福祉法人 友愛
大宝カナリヤ保育園 園長

講義日は、講義+レポート作成時間（15分程度）を現場の理解を得ながら確保することで時間的にも精神的にもゆとりが生まれ継続して受講することができます。

講義内容はどれも新鮮で新たな気づきがあり大変良い刺激になっています。複雑多様化する福祉界において、この気づきと同じ志や目的を持った仲間である他職種（多職種）との相互連携やかかわりは、きっと自身の大きな宝になると信じています。

まずは、えにしアカデミーを楽しもうと思うことが1番です。仲間と一緒に楽しんで！



他分野の学生との交流が 自分を成長させる

東郷 和也さん 1期生
社会福祉法人 青祥会
特別養護老人ホーム アンタレス 療養課長

えにしアカデミーの最大のメリットは、高齢・児童・障がいといった他分野の方々と交流が図れることです。地域の福祉増進には、各分野が横断的につながりを持ち続けることが求められます。様々な角度から学び、自分の福祉人生を振り返ることができ大変有意義に感じています。

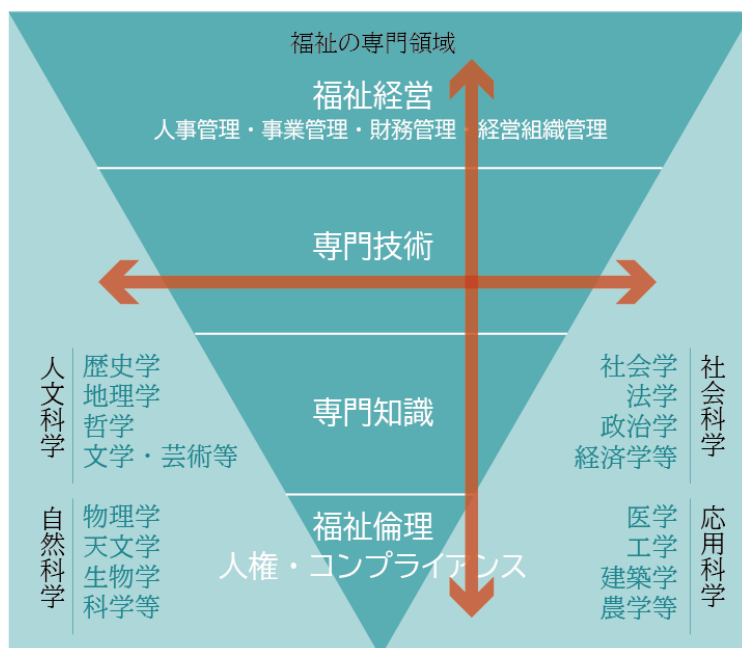
仕事をしながら学ぶ。これは大変なことです。でも、現場で働く視点を持ちながら受講することこそ、学生時代とは異なった広い知識と能力を身につけるという、実践者の学びがここにあります。

※所属・役職は在籍当時



- ① 毎週金曜日はアカデミーの日。職場からオンラインで受講可能。
- ② 対面での交流会は“横の糸”を紡ぐ大切な場。
- ③ 心惹きつけられる講義に夢中になりながらも、
いつ指名されるかわからない緊張感も…。
- ④ 北野フェローから「エンパワーメント」が語られた。
- ⑤ 修了論文執筆の不安もフェローが丁寧によりそう。
- ⑥ 集合講義の様子。熱を帯びたフェローの語りは、想いと共に学生へ伝わる。

①	②	③
④	⑤	⑥



【他の領域を学ぶ意味】

地域生活課題へ向き合うとき、自己が専門とする分野・領域以外の学びと蓄積が支援や援助の幅を広げてくれます。社会福祉や保育・介護・障害分野等、従来の専門領域の学びに加え、福祉の近接領域を含む、より豊かな知識と実践を自分のものにすることは、クライアントや住民をエンパワーメントするより豊かなソーシャルワーク実践につながります。

えにしアカデミーではそれぞれの専門性を基軸としながらも、バランスと総合的な視点を持って、地域で活躍できる人材の育成を目指しています。

シニアフェローからのメッセージ



湯浅 誠 氏

社会活動家、東京大学先端科学技術研究センター特任教授

日々現場で実践している人が学ぶことには、学生時代とはまた違ったメリットがあります。学びをすぐに現場で試せるからです。すると、学びが深まります。自転車の乗り方という本を読んで、自転車に乗れるようになった人はいません。乗って転んで学びます。本講座も座学で終わればそれまでです。現場で試して、乗って転んで、身につきます。自転車に乗るように—そんな気持ちで受講いただける方をお待ちしています。



尾崎 史 氏

認定特定非営利活動法人あさがり理事長

県外出身の私は、学生時代から滋賀県にはとても憧れを抱いていました。当時、本や映像で紹介されていた福祉の様々な取り組みが強く印象に残っていたからです。ご縁があり、この地に住み着いて、ここで働き、悩み、学び、仲間を得ました。福祉の実践は悩むことの連続ですが、その悩みを力に変えて、現場にお返しするための新しい学びが「えにしアカデミー」です。皆様、お待ちしております。



沖田 行司 氏

びわこ学院大学学長

教育はグローバルな、世界に共通する部分を持ちながらも、民族や文化により、個性豊かな人間形成の思想をもっています。私たちは前者を重視するあまり、後者には関心を向けなくなっています。近江聖人と呼ばれた中江藤樹、松坂の町人の本居宣長、朱子学を批判した貝原益軒の教育思想を通して、人間形成の思想を考えたいと思います。



渋谷 篤男 氏

日本福祉大学福祉経営学部(通信教育)教授

ご自分の仕事や活動を掘り下げることも大切ですが、学ぶ仲間同士で交流して視野を広げることが楽しいと思います。時に対立することもあります。でもだからこそ、新しい世界も広がります。そして、ニーズを見る目が磨かれます。



北野 誠一 氏

社会福祉法人西宮市社会福祉協議会
共生のまちづくり研究・研修所所長

滋賀県全域における重層的・包括的な相談・支援体制のヴィジョンが、生み出され、沸き上がってくるような、そんな面白くて刺激たっぷりの講義やゼミメンバー会議等が、満載です。アカデミー生全員とフェロー全員の間で立ち起こる《相互エンパワーメントのドラマ(物語)》是非、お立合い・お立合い！！



原田 正樹 氏

日本福祉大学学長

地域共生社会を実現していくためには、制度や仕組みを変えるだけではなく、私たち一人ひとりが意識や支援を変えていく必要があります。同時に私たちは、地域の差別や偏見に働きかけていかなければ、地域は変わりません。そうしたことを皆さんと学び合っていきたいと思います。



金子 秀明 氏

社会福祉法人さわらび福祉会理事長

対象者に限りなく関心を寄せ、真剣に向き合うからこそ悩み、考え…学ぶことで実践は深まっていきます。えにしアカデミーはフェローも学生同士も、双方向に学ぶ会場です。そこで生まれた「つながり」が、自分自身を次代の滋賀の福祉を更に高めていく力になると信じています。共に集い、学び合いましょう。



牛谷 正人 氏

社会福祉法人グロー理事長

「ニーズに応えることが福祉の仕事ではない。彼らの暮らしと向き合えばそこに気づきがあり、それをどうすれば良いのか考え実践することが生涯をかけた福祉の仕事である」
40年近く前、大学の卒論で訪ねた信楽で池田太郎氏からいただいた言葉です。制度から発想するのではなく、暮らしから発想する滋賀の取り組みを引き継いでもらえる人とともに滋賀の未来を考えたいと思います。

えにしアカデミー



滋賀の縁創造実践センター
社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会 えにしアカデミー事務局
〒525-0072 滋賀県草津市笠山7丁目8-138
TEL077-567-3927 FAX077-567-3910
<https://enishi-ac.jp>